

北八ヶ岳 池巡りシリーズ（１）「白駒池」「雨池」 2015/01/18-01/19

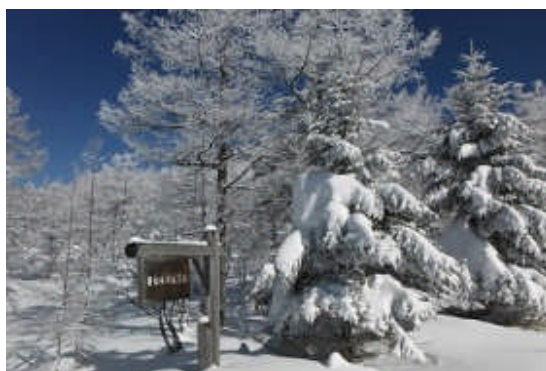
参加者 6名 Nさん（L）・Fさん・Tさん・Hさん・Nさん・S 報告 S

快晴の北八ヶ岳 メルヘン街道を歩く。マリンブルーの海の中で珊瑚を鑑賞しているような気持ちにもなってくる。これでもかという程の青空と雪のコントラスト。風も無く、私たちが歩みを止めれば時間がぴたりと止まる。美サイレント♪このままここに佇めば歳も取らなくてすみそうだ。

国道299号のゲートから麦草峠へ。HさんNさんは体力温存作戦のため、スノーモービルでマッハの世界。雪に映える赤のウェアなびかせて、カッコ良く去って行ってしまった。残されたメンバーはてくてく組。

リーダーから素晴らしいビューポイントがあると言われ、わくわくしながら歩み続けた。

「日向木場展望台」そこに上がるためには踏み跡の無い深雪の中に入っていかなければならない。先頭のリーダーが腰まで埋まり、その後続く私



はもう沈まないだろうと安心して踏み込んで、ずぼり。後ろのTさんに救出して頂いた。膝で歩く、ケツ圧で雪を押さえる。リュックも使うなど雪面を歩く工夫、勉強になりました。展望台からの眺望は極上、上吉。南アルプス・中央アルプス・御嶽山・北アルプス南部。心眼で槍のとんがり帽子も見ることができた。しかし、緩やかな上り坂とはいえなかなか辿り着かない麦草峠。だんだんとスノーモービルの軌跡が恋しくなってきた。途中休憩を含めながらようやく麦草ヒュッテにたどり着いた。

先行のHNチームはひと足先に白駒池に向かったと小屋のお姉さん。日が暮れるのが早いし寒くなりますよ・・・「後を追うのなら、あんまりのんびりしてはダメよ」と暗に言われて、休憩もそこそこに二人の後を追う。

熟練のTさん、先行のお二人の事が気掛かりでダッシュ！！早くて早くて登り坂で吐くかと思った。頑張ってもじわり離れていくので、オリンピックのノルディックが頭をよぎる。この競技は絶対にやるまい！ダッシュの甲斐あって、白駒池のほとりでお二人に追いついた。そのうれしさと、初めて見る氷結の白駒池の美しさ。池の中央へ向かって歩いて行く。踏み跡の無い湖上の初めの一步は格別だった。

白駒池からの帰りは太陽が傾き始め、森の中の雪はグレーに、目の前の茶白山は夕日を浴

びて黄金色に輝いていた。自然の造形美は雪の風紋。

今晚の宿泊は私たち6名だけ。部屋でのんびり傷んだ足の品評会をし、夕食後ストーブを囲んで雑談に花が咲いた。7時半にはする事も無くなり朝も早かったので部屋に戻って炬燵でぬくぬくした。

気になる天気予報。19日は曇天。6時45分に本日の目的池、雨池に向かってヒュッテを出発。森の中は薄暗く雪をかぶった低木がモンスターにも見えてくる。途中でトレースが無くなると「地形を見ればどこを歩いたらいいか、わかりますよ。Sさん、先頭ね!」とリーダー。ちょっとした探検気分が味わえて気持ちはハッピーだった。途中から場所によって風雪が強くなり、トレース無き道を交代で踏み分けていくと、ぽっかりと真っ白な雪原が目の前に広がってきた。雨池に到着。昨日は快晴の「白駒池」、今日は小雪舞う「雨池」。ここで「未踏峰」という小説の話聞いた。印象的だった。静かな池のほとりで薪を囲んでこの小説の話をじっくり聞きたいと思った。

さて、往路を戻り麦草峠経由、駐車場まで。ゆっくりと辛抱強く歩みを進めていくリーダー、なぜそんなに軽やかなのか年齢不詳のTさん、諸先輩方の後姿に学ぶ帰路となった。

ゲートにて先行のFさん、Hさん、Nさんと合流でトレッキングは無事終了。車中、道中、宿で、終始わきあいあいと和む二日間だった。今回は故障あり、体調不良ありで6名そろって歩くことが出来なかったが、いつの日か全員でのんびり歩いてみたいと思った。みなさま、楽しい二日間をありがとうございました。

2015/01/18 10:10 国道299号ゲート ⇒ 11:20 日向木場展望台 ⇒ 14:30 麦草ヒュッテ
⇒15:15 白駒池 ⇒ 16:15 ヒュッテ着

2015/01/19 6:45 ヒュッテ発 ⇒ 8:30 雨池 ⇒ 10:00 麦草峠 ⇒ 12:10 ゲート

